

令和3年度

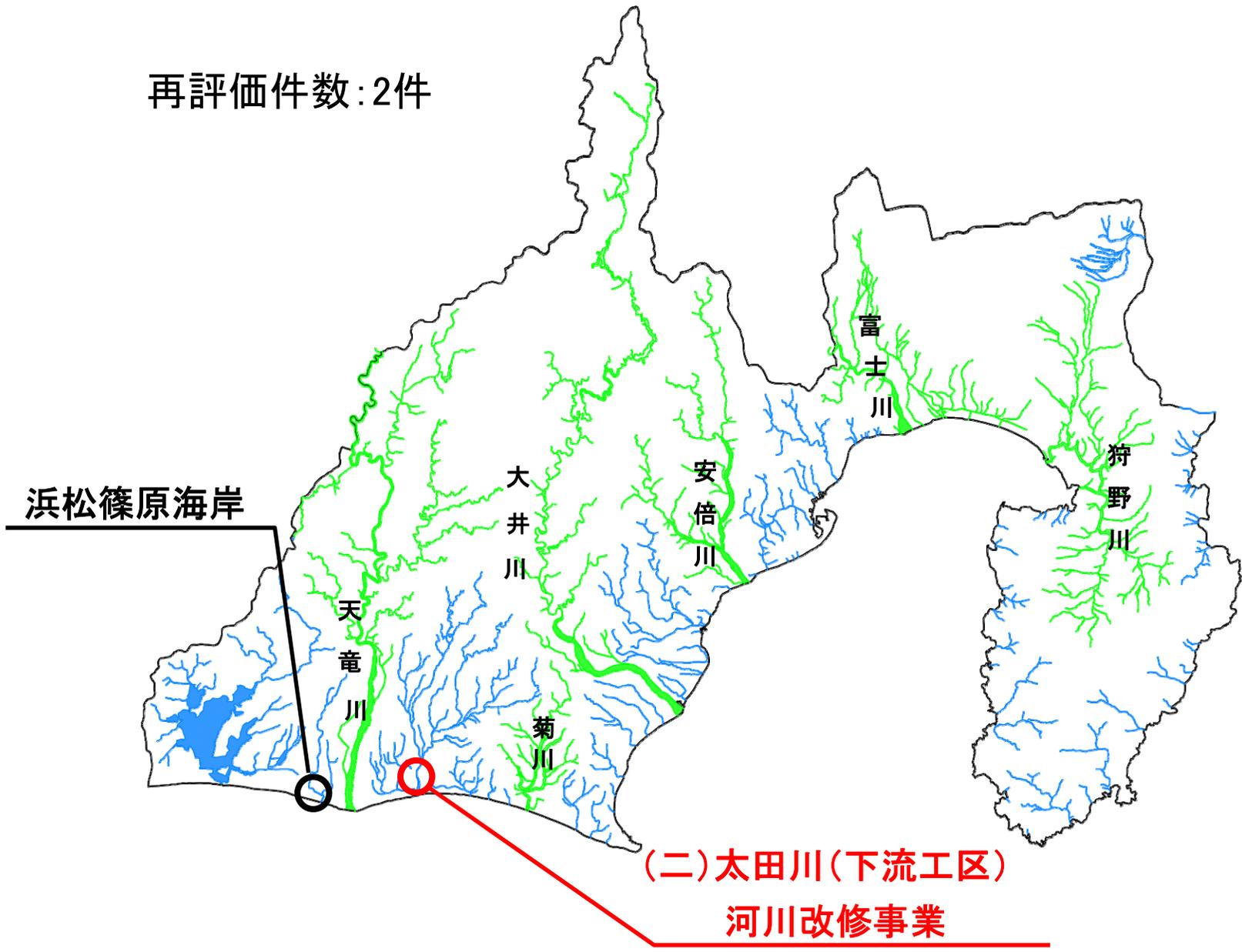
公共事業再評価

番号	事業名	箇所名	代表箇所
6	広域河川改修事業	二級河川太田川 (太田川下流工区)	◎
7	侵食対策事業	浜松篠原海岸	

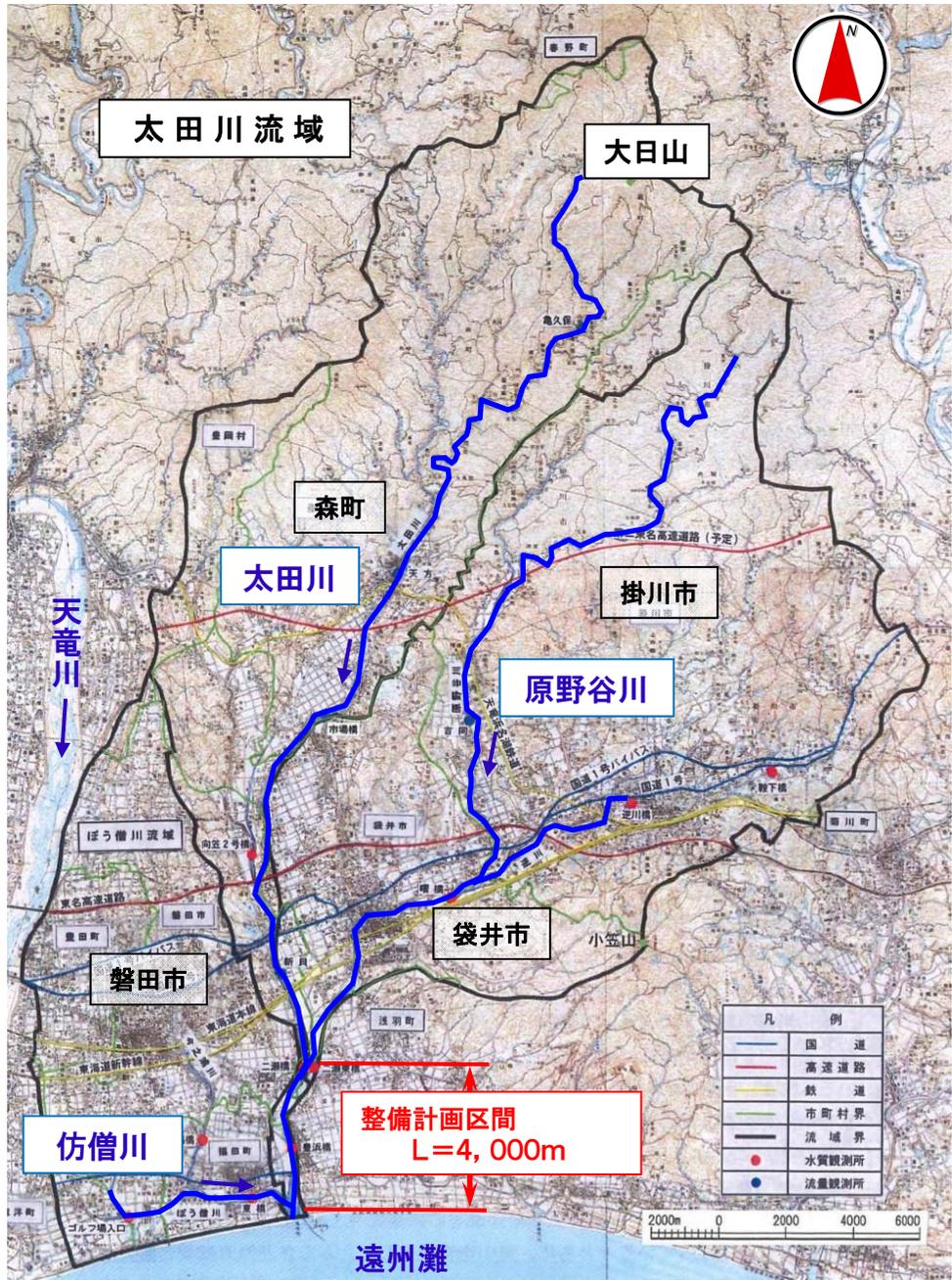
河川砂防局 河川海岸整備課

再評価実施箇所位置図

再評価件数: 2件



1. 位置図



2. 事業の必要性



近年における浸水被害状況（袋井市・磐田市）

発生年月日	床上	床下
H10.9.24	46	245
H16.11.12	97	341
H26.10.2	12	75
R1.7.22	42	2
R1.10.12	8	54

平成26年10月洪水
袋井市方丈（原野谷川出水状況）

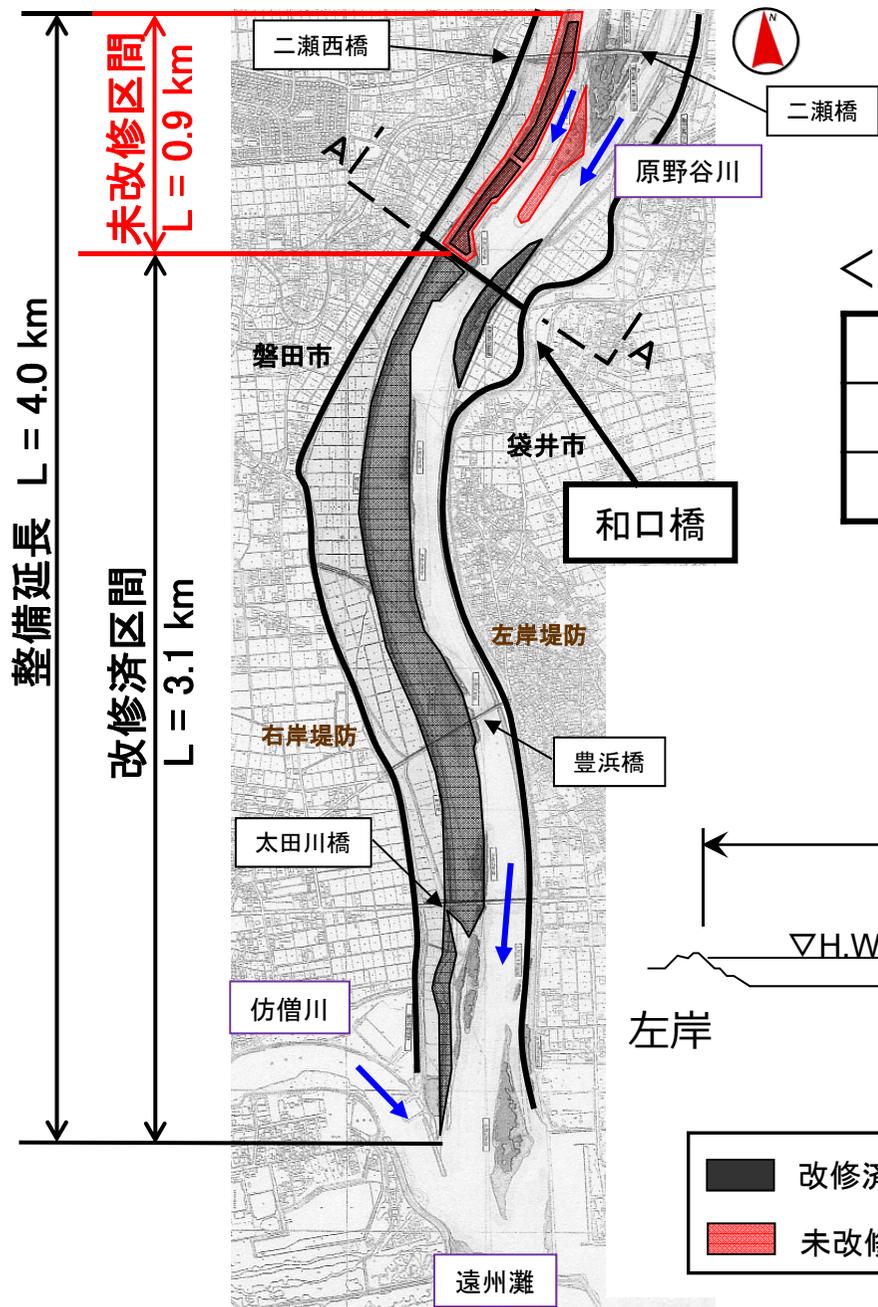


令和元年10月洪水
袋井市高南（道路浸水状況）



1/10確率の河川改修を行い、平成10年9月洪水と同規模の洪水に対し、浸水被害を生じさせない河川改修を実施

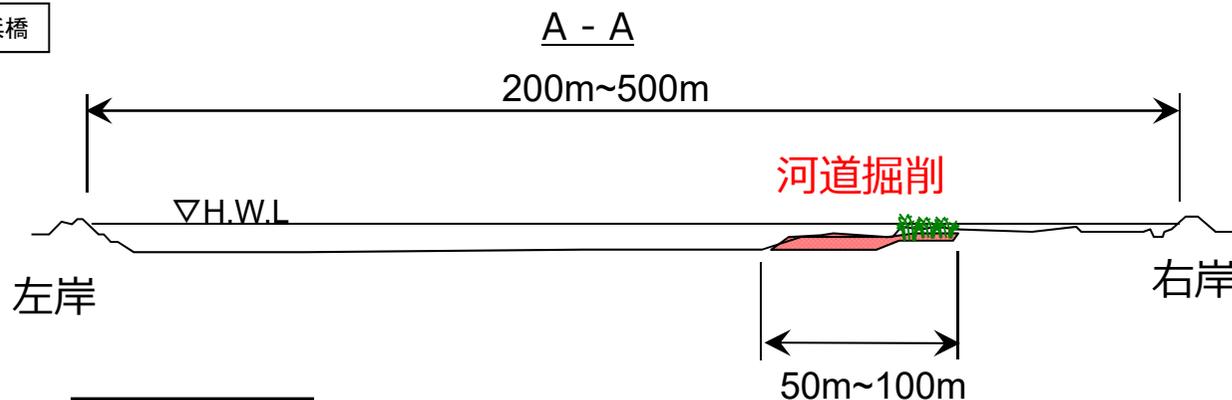
3. 事業概要



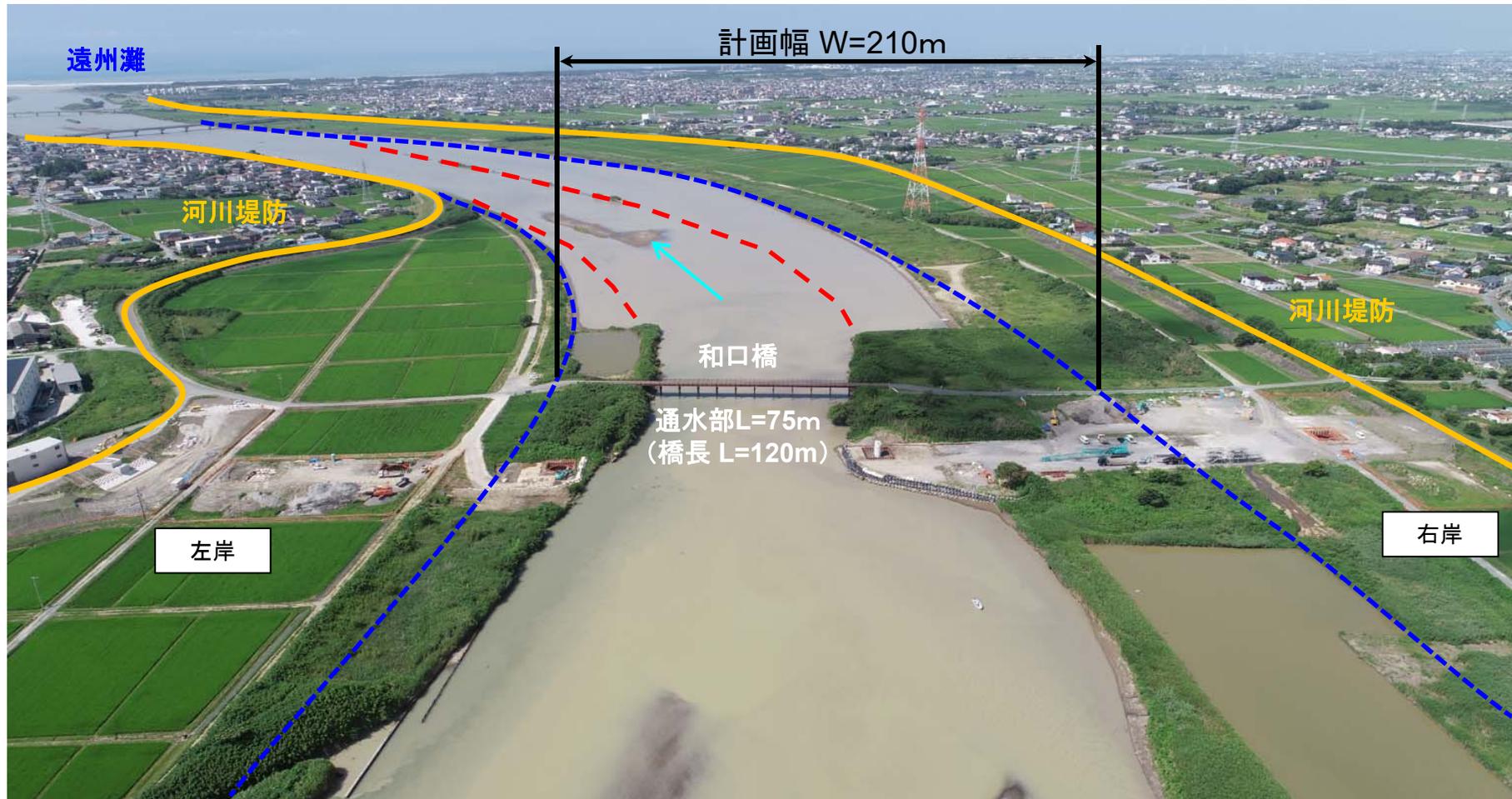
<事業概要>

計画期間	平成14年～令和7年
全体事業費	117 億円
投資状況	96.61億円 82.6% (R3見込み)

<標準横断面図>



4. 事業の進捗状況



和口橋付近（下流を望む）（H30.7.10撮影）

4. 事業の進捗状況

架替前



架替後



令和3年3月「和口橋」437m
架け替え完了



令和3年3月20日
和口橋お披露目会（磐田市）

5. 今後の事業計画

前回からの変更点

	前回 (H28)	今回 (R3)
計画期間	H14~R3	H14~ R7 (4年延伸)
全体事業費	11,700百万円	11,700百万円 (変更なし)

①和口橋架替の着手遅れ
磐田市・袋井市との調整。
C=12億円（市町負担1/2）

②合流点の中州の掘削は、
進入路が二瀬橋からの1箇所のみ。
水中部分の掘削が非常に多い。

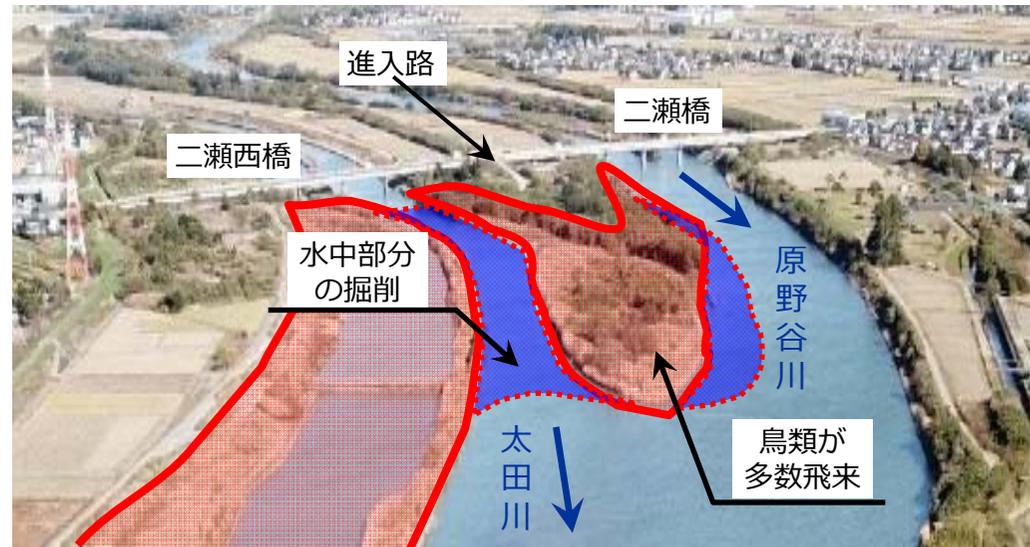
③河川内植生により、
鳥類が多数飛来・生息しており、
豊かな自然環境が存在。

工事工程（変更）

工種	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
橋梁架替	[黒色帯]										
河道掘削 (和口橋上流)							[赤色帯]	[赤色帯]	[赤色帯]	[赤色帯]	[赤色帯]

②合流点部の掘削

③掘削工の制限
(環境への配慮必要)



太田川と原野谷合流点を望む

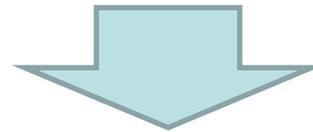
6. 費用対効果

総便益(B):被害軽減便益 + 施設の残存価値 = 22,878百万円

総費用(C):建設費 + 維持管理費 = 1,873百万円

費用便益比 (B/C) = 12.2

経済的内部収益率(EIRR) = 68.6 %



※令和2年換算価値

※文献(マニュアル)

「治水経済調査マニュアル(案)」

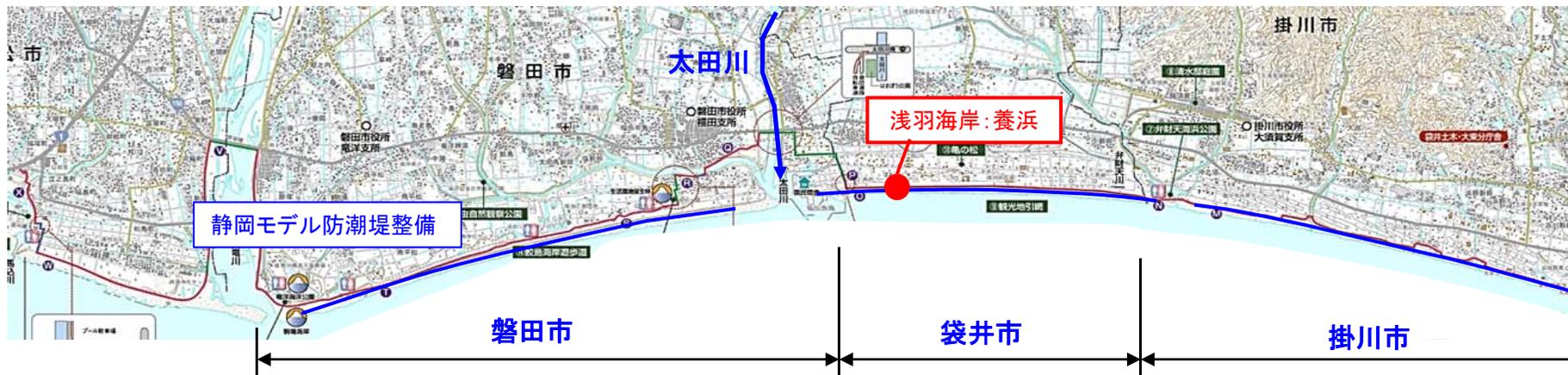
国土交通省水管理・国土保全局 R2.4

費用対効果が認められる

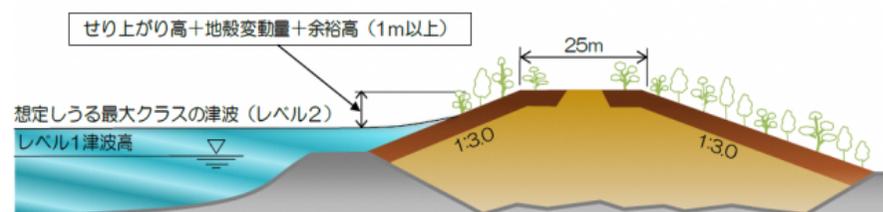
7. 新たなコスト削減

＜掘削土の有効活用＞

・海岸侵食対策としての養浜材や近隣市が実施する海岸防潮堤の盛土材などに活用



養浜工事の状況



防潮堤整備イメージ

8. 今後の事業進捗の見込み

- ネット箇所和口橋架替が完了し、残る和口橋から原野谷川合流点までの河道掘削は、令和7年度までに完了する見込みである。

9. 対応方針(案)

- 本事業に対する地域住民からの河川整備への期待は、一層高まっており、太田川流域の治水安全度を向上させることは、安全・安心な地域づくりに寄与します。
- 近年の激化する豪雨に対しては、流域のあらゆる関係者で取り組む「流域治水」の考えに基づき、根幹となる河川整備は確実に進める必要がある。
- 事業の投資効果も見込まれ、今後の事業の進捗が見込まれることから、事業を継続する。